

利用者の皆様へ



図書館からのお知らせ

1. 2月の開館案内

2月の開館

		開館時間	閉館時間
1	土	10:30~15:30	
3	月	9:10~18:50	
4	火		
5	水	9:10~17:50	閉館なし
6	木		
7	金		
8	土	10:30~15:30	
12	水	9:10~17:50	
13	木		閉館なし
14	金	9:10~18:50	
15	土	10:30~15:30	
17	月	9:10~17:50	
18	火	9:10~16:50	
19	水	9:10~17:50	閉館なし
20	木	9:10~18:50	
21	金		
22	土	10:30~15:30	
25	火		
26	水	9:10~18:50	閉館なし
27	木		
28	金	9:10~17:50	
29	土	10:30~15:30	

(注:記載のない曜日は閉館です)

3. 第162回 芥川賞・直木賞受賞作品紹介



・「背高泡立草」古川真人(著) 集英社

草は刈らねばならない。そこに埋もれているのは、納屋だけではないから。『星の子』が芥川賞候補となった話題の著者による待望の最新作。



・「熱源」町屋良平(著) 新潮社



日本人にされそうになったアイヌと、ロシア人にされそうになったポーランド人。文明を押し付けられたことで、アイデンティティを揺るがされた経験を持つ2人が樺太で出会い、自らが守り継ぎたいものの正体に辿り着く。

直木賞:作家直木三十五の名を記念した大衆文学の新人賞
芥川賞:作家芥川龍之介の名を記念した純文学の新人賞

出典:ジャパンナレッジlib:日本大百科全書

2. 新着図書の紹介

たくさんの新着図書から図書館員の一押しを紹介します。

・「レオナルド・ダ・ヴィンチの童話」

レオナルド・ダ・ヴィンチ(著)

天才は、子供たちに何を伝えたかったのか？ 500年前に書き残された現代へのメッセージ。



・「ラグビーの世界史」トニー・コリンズ(著)



村の祝祭から名門校の教育に、大衆の娯楽から国民統合の象徴に！ そして、ワールドカップへ。大英帝国の霸權とともに世界各地に広まった「楕円形のスポーツ」を、知られざる逸話や資料をもとにグローバルに活写する歴史書の決定版。政治・経済・言語の諸相を踏まえながら、ワールドカップへの道程を物語る。

・「パパは女子高生だった」前田良(著)

家族は、4人。僕、妻、2人の子どもたちの4人家族だ。どこにでもいる、家族。ただひとつ。たったひとつだけ、違ったことといえば、女の子として生まれたということだった。「性別変更した夫を父親として認める」という画期的な決定を最高裁で手にした家族の物語。



・「すごいぞ！ はたらく知財」内田朋子[他](著)

この本では、著作物、特許、商標、意匠などの知的財産にかかる11の仕事に焦点をあて、知財を生み出す仕事の奥深さにふれるとともに、そこに生まれるさまざまな権利や、その正しい利用方法をわかりやすく解説します。将来、ものづくりの仕事につきたい中高生から仕事でワクワクしたい社会人まで必須のリテラシーが1冊になった知財入門書の決定版！

・「言の葉連想辞典」あわい(絵);遊泳舎(編)

全ページにイラストが入っている、「直感で楽しめる」辞典が誕生。言葉を調べるだけでなく、読み物としても、画集としても、様々な楽しみ方ができる1冊。空、海、恋、夢……など、70のテーマそれぞれに対して選び抜いた、美しく粹な言葉を紹介している。



・「おもしろ」授業で法律や経済を学ぶ」熊田亘(著)



高校生の知的好奇心を刺激するちょっと変わった授業の取り組み。高校生を“社会科学”へつなぐ授業風景18本収録！

